

News Clip & AV Material

ニュースクリップ&映像教材



写真・文部科学大臣賞を授与される受賞者

■「第12回全国子ども科学映像祭」文部科学大臣賞授与

平成26年2月9日予定していた標記映像祭表彰式の開催は悪天候により中止となったが、同年3月5日および12日に、全国子ども科学映像祭運営委員代表が受賞者の所属する静岡県藤枝市立高洲南小学校（写真上）および東京都八丈町多目的ホールで開催された発表会（写真下）において文部科学大臣賞を授与した。なお、第12回入賞作品は、<http://www.javea.or.jp/kodomoeizo/index.html>を参照のこと。

文部科学省情報

■ 平成26年度 子どもの読書活動推進フォーラム

文部科学省、(独)国立オリンピック記念青少年総合センターの主催により、子ども読書の日に標記フォーラムが開催される。

〈日時〉平成26年4月23日(火) 13:00~16:15
(閉会予定)

〈会場〉国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟大ホール(東京都渋谷区代々木神園町3-1)

〈内容〉特別講演「小説を書く時間」林真理子氏(作家)、事例発表と対談、表彰式等。事前申し込み。定員になり次第締切。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.niye.go.jp/files/items/1101/File/H26kodomotirashi.pdf>

〈問い合わせ〉(独)国立青少年教育振興機構教育事業部事業課 TEL 03-6407-7685(受付時間 9:30~17:00土日・祝日を除く)

AV情報

■ 第26回すかがわ国際短編映画祭開催

すかがわ国際短編映画祭実行委員会、須賀川市、須賀川市教育委員会主催により、広く映像文化に対する理解を深めるとともに、地方文化の振興と国際文化交流を推進することを目的に標記映画祭が開催される。

〈日時〉平成26年5月10日(土) 10:00~17:00・11日(日) 10:00~17:40

〈会場〉須賀川市文化センター(福島県須賀川市牛袋町11)

〈内容〉ドキュメンタリーやドラマ、アニメーション作品26本の短編映画上映、金子兜太氏(俳人)と日向寺太郎氏(監督)によるゲストトーク等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://sisff.littlestar.jp/>

〈問い合わせ先〉すかがわ国際短編映画祭事務局 須賀川市教育委員会文化・スポーツ課内 TEL 0248-88-9172

■ 小・中学生が行う「景観まちづくり学習」費用助成

(一財)都市文化振興財団では、学校教育の場で国土交通省が推進する「景観まちづくり学習」を行うためのモデルプログラム(題材)を活用した学習に取り組む全国の小・中学校に対し下記のような助成を行っている。

〈趣旨〉 国土交通省において平成19年3月に策定された11のモデルプログラム(題材)「景観まちづくり学習のススメ!」の中から選んだプログラムを授業や総合学習の時間等において取り組む小・中学校に対して助成を行う。

〈助成額〉 1校につき10万円。応募についての詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.toshibunka.or.jp/josei.html>

〈受付期間〉 平成26年5月23日(金)

〈問い合わせ先〉 (一財)都市文化振興財団景観まちづくり助成事務局 TEL 03-3299-8861

TEL 03-5494-1125

研究会情報

■ 「フューチャースクールの実現に向けて Campusセミナー2014in鹿児島」

(一社)日本教育工学振興会では、情報教育対応教員研修全国セミナーの一環として、標記研修会を開催する。

〈日時〉 平成26年4月19日(土) 9:15~16:10

〈会場〉 鹿児島商工会議所ビルアイムビル4F(鹿児島県鹿児島市東千石町1-38)

〈内容〉 基調講演「教育におけるデジタル化の遷移と今後の方向」赤堀侃司氏(白鷗大学教授)、セミナー「授業改善に直結するICT活用の在り方」「基礎学力を強化するための学習システム活用事例」「正しく怖がるインターネット」「『ランドセルにタブレットPC』時代の到来に向けて」、展示見学等。詳細は、下記を参照のこと。

http://www.japet.or.jp/muln9n4fo-489/#_489

〈問い合わせ先〉 (一社)日本教育工学振興会

TEL 03-5575-5365

■ 公開シンポジウム「ICTの将来展望と課題解決に向けて—尖った人材をいかに育て、イノベーション創出につなげるか—」

日本学術会議電気電子工学委員会主催により、標記シンポジウムが開催される。

〈日時〉 平成26年4月30日(水) 13:00~17:40

〈会場〉 日本学術会議講堂(東京都港区六本木7-22-34)

〈内容〉 講演「なぜいま『尖った人材』や『高度人材』が必要とされるのか」井筒雅之氏(早稲田大学客員教授)、パネル討論「尖ったICT人材をいかに育て、イノベーション創出につなげるか」等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/187-s-3-4.pdf>

〈問い合わせ先〉 日本学術会議

TEL 03-3403-1056

学会情報

■ 「ICTを活用した教育・学習／一般」

日本教育工学会では、標記研究会を開催する。

〈日程〉 平成26年5月17日(土)

〈会場〉 長岡技術科学大学(新潟県長岡市上富岡町1603-1)

〈内容〉 ICTを利活用した教育や学習などに関する研究や実践および調査の発表により、知見と情報を共有する。詳細は、下記を参照のこと。

<https://www.jset.gr.jp/study-group/files/20140517.html>

〈問い合わせ先〉 日本教育工学会研究会幹事

MAIL study-group-core@jset.gr.jp

■ 日本アーカイブズ学会2014年度大会(設立10周年記念大会)

日本アーカイブズ学会では、標記年度大会を開催する。

〈日程〉 平成26年4月19日(土)・20日(日)

〈会場〉 学習院大学南3号館(東京都豊島区目白1-5-1)

〈内容〉 大会記念講演会「アーカイブズと私—沖縄県公文書館の設立を中心に」大田昌秀氏(沖縄国際平和研究所理事長)、企画研究会「私たちの『アーカイブズ学』をとらえ直す—批判・検証・展望」等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.jsas.info/>

〈問い合わせ先〉 日本アーカイブズ学会事務局

MAIL office@jsas.info

コンクール情報

■ 「第9回著作権教育実践事例」顕彰事例決定

(公社)著作権情報センターでは、著作権教育の

理解や尊重に役立つモデルとなる事例、優秀な事例を広く教育関係者に紹介するため、学校における顕彰事例を下記のように決定した。

○最優秀賞 新潟県上越教育大学附属小学校「プロモーションビデオ制作と発信を通して気を付けることを考えよう」、○優秀賞・モデル教育賞 石川県金沢市立小坂小学校「豊かな読書文化を育むための著作権教育—守ってさらに上手に利用する—」他、詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.cric.or.jp/index.html>

(問い合わせ先) (公社)著作権情報センター

TEL 03-5348-6030

文部科学省選定作品

■2月選定 〔紙〕紙しばい／〔ビ〕ビデオ／〔D〕DVD
 「ラッコのおやこ」〔紙〕8枚〈幼稚園／幼児、教養〉(株)童心社
 「わたしたちの声 3人の物語—『全国中学生人権作文コンテスト』入賞作品をもとに—」〔D〕45分〈小学校高学年・中学校、道徳／少年・青年・成人、地域社会生活(人権)〉(株)桜映画社
 「日本—幸せな従業員をつくる!—ホテルアソシア名古屋ターミナルの挑戦—」〔D〕92分〈少年・青年・成人、教養〉NPO法人ハートオブミラクル
 「幼い命を守れ! どう教える『避難の方法』—幼稚園、保育所の防災対策—」〔D〕26分〈青年・成人、地域社会生活(災害予防・対策)〉(株)映学社
 映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。
http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/main9_a1.htm

寄贈図書資料

「視聴覚教育41集『研究紀要』」長野県高等学校視聴覚教育研究会、平成26年2月19日、A4判73頁
 「放送メディア研究11 特集 進化する災害報道—東日本大震災から3年・メディア多様化時代の防災情報—」日本放送協会放送文化研究所、平成26年3月5日、四六判362頁

短信

■ 文部科学省生涯学習政策局情報教育課の異動

平成26年4月1日付け

○情報教育振興室長 水野晴央氏→大阪大学学生部長
 ○課長補佐 西條英吾氏→生涯学習推進課課長補佐
 ○専門官 大内克紀氏→情報教育課情報教育振興室室長補佐
 ○庶務(併)メディア係長 高野智志氏→情報教育課学習情報係長
 ○学習情報係長 細野蔵氏→社会教育課庶務係長
 ○ICT環境整備係長 川瀬成彦氏→政策課専門職
 ○情報教育振興室情報教育推進係長 岡野秀次氏→千葉県教育庁企画管理部教育政策課副主幹
 ○教育情報施策調整係 及川香菜子氏→初等中等教育局教育課程課教育課程第1係
 ○情報教育振興室情報教育推進係 松尾雄樹氏→政策課学校基本調査係
 ○情報教育振興室情報教育推進係 杉崎太佑氏→学習情報係
 ○初等中等教育局視学官 酒井貢氏→情報教育振興室長
 ○国立教育政策研究所国際研究・協力部総括研究官 篠原真子氏→(併)情報教育課情報教育調査官
 ○生涯学習政策局社会教育課課長補佐 丹野史教氏→課長補佐
 ○社会教育課図書館振興係長 松井佳奈江氏→庶務係長(併)ICT環境整備係長
 ○大臣官房政策課用度班契約第2係長 佐藤理史氏→メディア係長
 ○千葉県 松本博幸氏→情報教育振興室情報教育推進係長
 ○埼玉県北本市 堀江智史氏→情報教育課専門職
 ○横浜国立大学 中ノ園功明氏→庶務係(併)ICT環境整備係
 ○東京都荒川区 荒井信行氏→学習情報係
 ○新規採用 五十嵐裕一氏→教育情報施策調整係

■一般社団法人日本教育工学振興会と一般財団法人コンピュータ教育推進センターは、平成26年4月1日に合併し、一般社団法人日本教育情報化振興会となった。住所等は、下記のとおり。
 〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13三會堂ビル
 TEL 03-5575-5367 FAX 03-5575-5366

■おわび 本誌3月号「視て聴いて わたしの提言」の執筆者(2頁)に坪田知宏氏とありますが、正しくは、坪田知広氏です。訂正しておわび申し上げます。

訃報

■元財団法人日本視聴覚教育協会評議員の岩山安成氏が平成26年2月26日ご逝去された。享年85歳。

■本誌海外教育事情欄を昭和54年から30年に渡って執筆担当された元独立行政法人メディア教育開発センター教授の佐賀啓男氏が平成26年2月25日ご逝去された。享年65歳。